

文教厚生常任委員会

文教厚生 常任委員会

◎松枝 正浩 ○野村 和人 藤田 直仁 塩井川公子 山口 仁美 宮田 竜二
前島 広紀 有村 隆志 ○委員長 ○副委員長

文教厚生常任委員会では、1件の陳情を継続審査し、2件の議案と1件の陳情を審査しました。

ここに注目!

「有機給食の日」導入及び給食コーディネーター配置に関する陳情を賛成少数で不採択

陳情項目は11ページ参照

宮田 竜二 議員 反対討論

令和6年12月に安全な学校給食について採択し、今回は手段に関する陳情。霧島市は、日頃から有機野菜と地産地消に取り組んでいる。栄養士、調理員、生産者との協力体制ができているため、給食コーディネーターの配置は不要だ。

ここに注目!

令和8年3月末で佐々木小学校が廃校に

横川町の佐々木小学校を令和8年3月31日で廃校とし、横川小学校に統合する条例改正案を可決。地元自治会からの要望を受けたもので、通学はスクールバスとふれあいバスで対応する。

ここに注目!

霧島市総合保健センター新設で条例改正

国分保健センターとすこやか保健センターを廃止し、新たに霧島市総合保健センター(延べ床面積2,266m²、3階建)を設置する条例改正案を全会一致で可決。令和8年2月供用開始予定。「駐車場が合計約100台減少するため、住民の利便性確保に留意してほしい」との意見を付して可決した。

ここに注目!

継続審査となっていた中山間地域の通学に関する陳情を全会一致で採択

陳情項目は11ページ参照

牧園地区等の小中学生の通学について、危険箇所への対応や、老朽化によるスクールバスの更新・適正配置、あり方検討委員会への地域住民参加を求める陳情。

山口 仁美 議員 賛成討論

徒歩通学の距離基準4km、6kmの基準内でも、急勾配、崩落箇所、害獣の出没など、子どもだけでは通学できない家庭が複数あり、送迎負担の常態化は看過できない。通学手段や支援制度を見直さなければ、子育て世代の定住が困難となり、地域の持続可能性にも影響する。子どもたちの安全と地域の未来を守るために、採択すべきと考える。



総務環境常任委員会

総務環境 常任委員会

◎竹下 智行 ○久木田大和 植山 太介 川窪 幸治 鈴木てるみ 阿多 己清
仮屋 国治 前川原正人 ○委員長 ○副委員長

総務環境常任委員会では、2件の議案と1件の陳情を審査しました。

ここに注目! 「測量設計業務委託に係る地元業者への発注促進を求める陳情書」を賛成少数で不採択

陳情項目は11ページ参照

陳情者への質疑・答弁



植山 太介 議員

Q 分離分割発注などの配慮があれば、霧島市に本社がある地元企業だけで市内の業務の8割程度はできるという理解でよいか。

A 8割どころか、100%できる自信がある。排水機場のような特殊な機械設計などを除き、土木に関する測量設計でできない業務はない。

執行部への質疑・答弁



久木田 大和 議員

Q 陳情者が「下請けでやった工事が実績として反映されないため、入札に参加しにくい」と主張していたが、この点についての執行部の見解はどうか。

A 下請けで業務の一部を請け負った実績を発注者側に報告することに問題はない。発注業務の内容によっては、指名業者を選定する際の検討材料になるため、積極的に情報を提示してほしい。

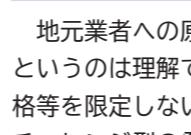


鈴木 てるみ 議員

Q 「地元企業を優先的に指名するよう努めている」とのことだが、陳情者によれば、この取組は一時的で風化してしまう。庁舎内で、この方針を継続するための具体的なルール作りは行われているのか。

A 指名委員会で、発注案件ごとに指名業者の妥当性を検討している。委員会内では、地元企業を優先するよう、指名業者数や内容を修正する意見が出されている。指名委員会だけでなく、発注担当課全体にも「地元優先」の方針は浸透していると考えている。

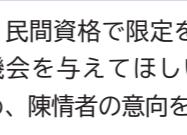
阿多 己清 議員 反対討論



地元業者への原則発注という受注機会を増やす

というの理解できるが、陳情項目にある民間資格等を限定しない発注や、実績の有無を問わないチャレンジ型の発注というのは賛同できない。陳情項目の全ての項目の内容に賛同できないため不採択である。

前川原 正人 議員 賛成討論



民間資格で限定をしない発注は難しいが、受注機会を与えてほしいという願いは理解できるため、陳情者の意向を理解し賛成する。